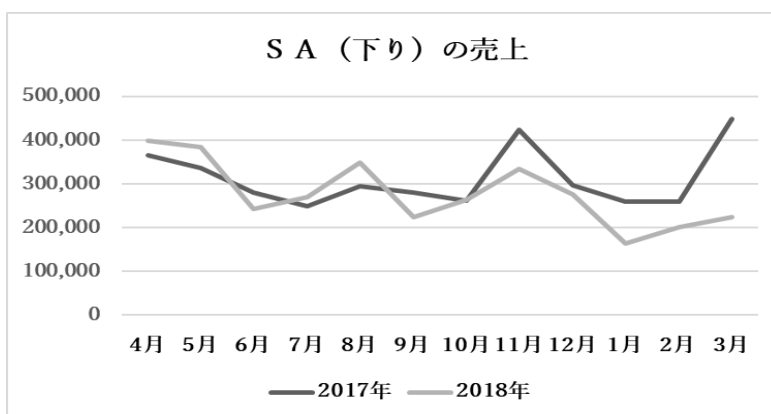
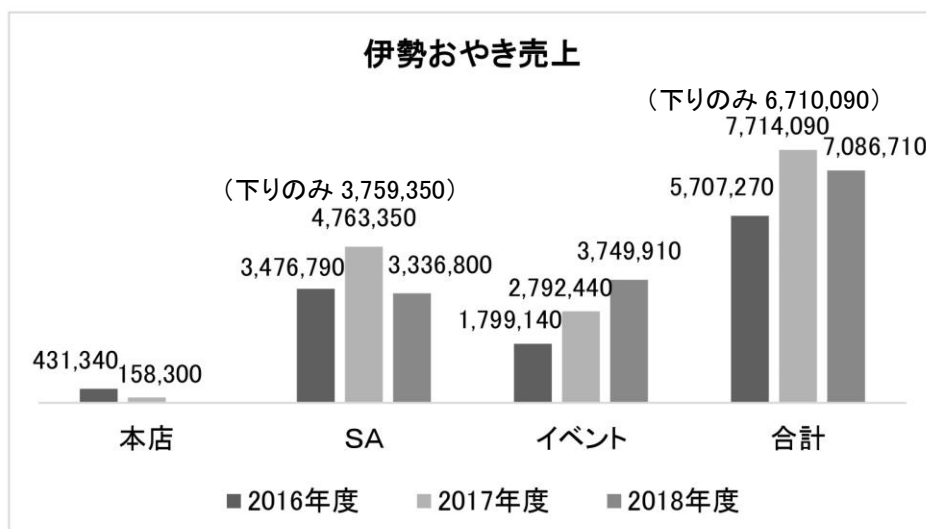


(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人市民社会研究所

1 「伊勢おやき本舗」事業の拡大

(1) 伊勢おやきの製造・販売



- ・ユニバーサル就労の実践～ユニバーサル就労センターとの連携
- ・夏のサイドメニュー（かき氷、冷やしパイン）
- ・四季菜を含むイベント売上の増加
- ・秋以降のSAの売上の落ち込みと3月の新名神の開通に伴う客数の激減

(2) 四日市彩サブレの開発と発売

- ・四日市大学と連携した四日市名物8種類のサブレ

*別添「みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金交付事業実績報告書」参照

- ・3月1日発売（3月分売上）

じばさん三重	121,760 円	
総合会館（地下、1F喫茶店）	62,550 円	
ばんこの里会館	17,910 円	
スプラウト	95,200 円	
注文（四日市大学など）	277,700 円	（合計 575,120 円）

四日市大の三年生が、四日市市の名物を紹介するサブレを三月一日から販売する。商品名は「四日市彩（irodori）サブレ」で、大判クッキー一枚ずつにトンテキや工場夜景など八種の絵があしらわれている。製造は市内の障害者就労支援施設が担い、協働で地域の魅力を手土産にした。（高島碧）

土産用のサブレ 四日市大生考案

同大総合政策学部松井真理子教授のゼミ生十八人が企画。市民活動の活性化等が中、産業都市で、名物がデザインしやすいサブレが客が多いが、地域の特色を表現した。サブレと一緒に各名物を説明するしおりも付ける。

来月1日発売



③四日市市の名物をあしらった「四日市彩サブレ」を紹介する四日市大の学生たち。四日市市の市総合会館で、①（左から）工場夜景、四日市とんてき、伊勢茶の絵をあしらったサブレ



中 日 2019.2.8
トンテキなど名物あしらう

学生はサブレにあしらう名物を決めるため近鉄四日市駅前街頭アンケートを実施。事前に洗い出した十九項目の中から代表する名物を選んでもらった。計二百人の声から「こにゅうくん」「大入道」「伊勢茶」「四日市あすなろ」「萬古焼」「四日市港」「四日市とんてき」「工場夜景」の八つを選んだ。

各名物のイラストを学生が考え、桑名市のクッキー専門店「Kuriharo」の協力を得てサブレに押し型にした。デザインが映えるようサブレの色と味は五種類に、「伊勢茶はかぶせ茶の粉末を混ぜて抹茶色に」「工場夜景」はココアの茶色と金色の砂糖で夜景を表現した。サブレと一緒に各名物を説明するしおりも付ける。

製造と販売は松井教授が代表理事を務めるNPO法人市民社会研究所が運営する伊勢おやき本舗（四日市市諏訪栄町）が担う。本舗では発達、精神障害者十人が働く。サブレの製造により新たに五人の障害者を雇用する予定だという。

ゼミ生の松川正賢さん（③）は「アンケートで声をあげることで、イラストの使用で市とより近づけるのが大変だった。サブレを機に四日市市に足を運ぶ人が増えたらうれしい」と願いを込めた。

販売場所は本舗や市内の地場産品販売所、宿泊施設を検討。一箱八枚入り千二百円（税別）。伊勢おやき本舗＝059-（355）5115

四日市名物サブレでいかが

学生とNPO、共同開発



四日市市の名物を描いた土産物のサブレを開発した四日市大学の学生＝四日市市諏訪町

伊勢茶・工場夜景…8種類PR

四日市市の魅力を多くの人に知ってもらおうと、サブレに特産品や観光地などの四日市名物を描いた土産物を、四日市大学の学生とNPO法人が共同で開発した。ビジネスなどの来訪者を通してシティープロモーションを図りたいという狙い。

土産物は「四日市彩サブレ」。伊勢茶や萬古焼、工場夜景など8種類の名物が描かれていて色は5種類。味も色に合わせて、ブレイン、お茶、ココア、チーズ、紫芋の5種類ある。同封するパンフレットには、それぞれ名物の説明や四日市市について書いてある。8枚入りが1200円（税抜き）、2枚入りが250円（同）。3月1日から販売する。

企画は、若者の就労支援を行うNPO法人「市民社会研究所」が行った。四日市大学の松井真理子教授が代表理事を務めている。四日市市の魅力をアピールする土産が少ないことから、目立ちがするサブレで四日市をPRしようと考えた。

協力したのは、松井教授のゼミに所属する四日市大学総合政策学部の学生12人。名物の選定とデザイン、パンフレットの作成を担当した。昨年春から始動し、名物選定では、知人や家族、駅頭やバイト先などで約200人を対象にアンケートを行った。回答の多かった上位八つを採択。1位は、市のキャラクター「こにゅうくん」で、「コンビナート夜景」「四日市とんてき」と続いた。パンフレットの名物説明では、それぞれの関係者に取材した。

3年の松川正賢さん（20）は「四日市の印象が残るようなサブレを作ったので、これを機に四日市を広めたい」と話した。製造や販売は、同NPO法人が運営している「伊勢おやき本舗」が担当。誰もが自分らしく働ける「ユニバーサル就労」の実現を目指してきた店で、障害者や様々な理由で仕事に就けなかった人らが働いている。サブレの作り方やデザインを桑名市のクッキー店から指導を受けた。

松井教授は、販売目標を「赤字にならない1日300枚」と設定。サブレの売り場を見込んで、障害者の雇用も現在の5人から、さらに5人増やせるとみている。

（大津正一）

2 北勢地域若者サポートステーションの実績

(1) 実績

- ・就職者数：①68人（前年比 81%）

その他の就職者数：②38人 合計就職者数（①+②）：106人

注：前年度は①を基準にした就職者数だったが全国的に就職者数が増えず、厚労省がその他の就職者数もカウント可能に期の後半で変更したため 106 人を就職者数としている。

（その他とは離職後再就職者、週 20 時間以内の就職、職業訓練、進学）

- ・新規登録者数：135人（前年比:89%）離職後の最新規登録認められず
- ・延べ相談件数：3163件

注：3月17日以降厚労省システムがシステム変更の不具合からダウンしていて、いまだ新システムの立ち上げができていない状態なので数字は 3/16 までの暫定数字。

(2) 若年無業者集中訓練プログラム（2 か月の 40 日間・4 泊 5 日の合宿含む）

（県内 4 サポステの中で北勢サポステだけが実施）

1 回目（6 月～）10 名参加：6 名就職

2 回目（10 月～）10 名参加：7 名就職（1 名は進学）

(3) スプラウト・トレーニング

16 名が参加：うち 6 名が就職

例：スプラウト⇒集中訓練プログラム⇒就職（契約社員）⇒正社員を促された。

(4) その他

- ・ミニ集中訓練プログラム（2 週間:10 日間（座学 5 日・就労体験 5 日）：三重県補助）を 2 回実施し 7 名が参加うち 3 名が就職
- ・ハローワーク四日市・桑名・わかものハローワークの職員向けに「サポステ説明会」延べ 7 回実施したことでハローワーク職員との間で連携が図れるようになった。（GATB 適性検査への誘導 20 件、集中訓練プログラムへの誘導 2 件など）
- ・就労体験先企業の見直しを実態に合ったものに見直し：38 社⇒26 社
- ・北星高校支援担当が 1 名専任となった（29 年度までは 2 名）
- ・ユニバーサル就労センターとの連携
- ・出張相談（桑名・いなべ・菰野・朝日・川越・東員・木曽岬）継続実施中

3 トレーニングカフェの運営

(1) 福祉医療機構助成（WAM助成）事業の実施 ＊別添報告書参照
 全国の「優良事例」34事例（152件中）に選定された。

(2) メニューの増加

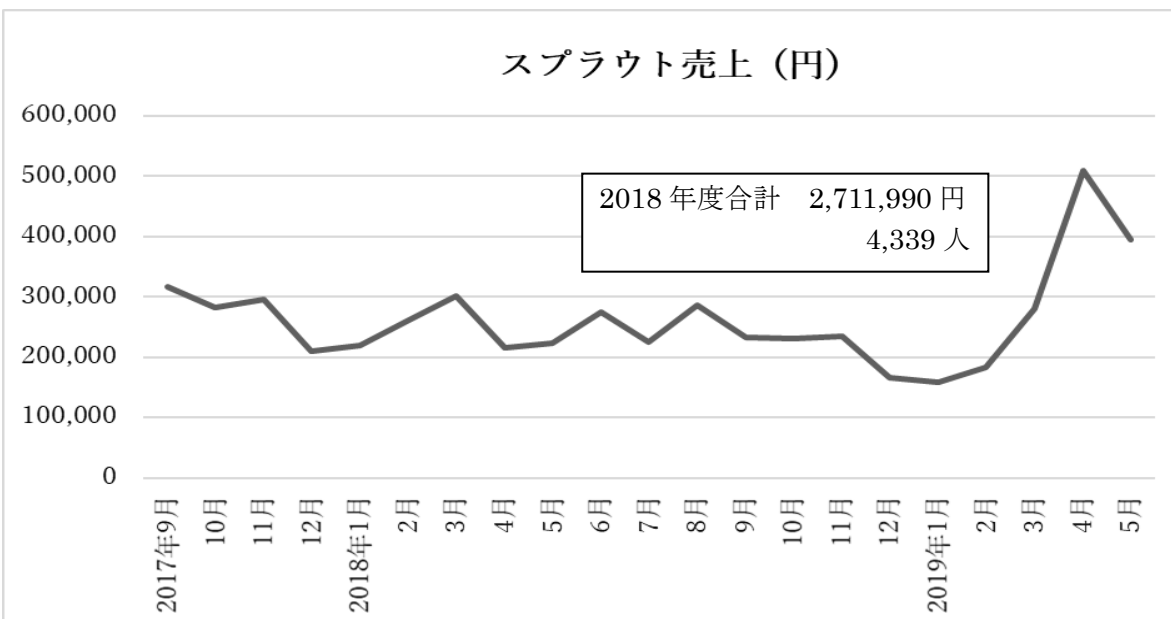
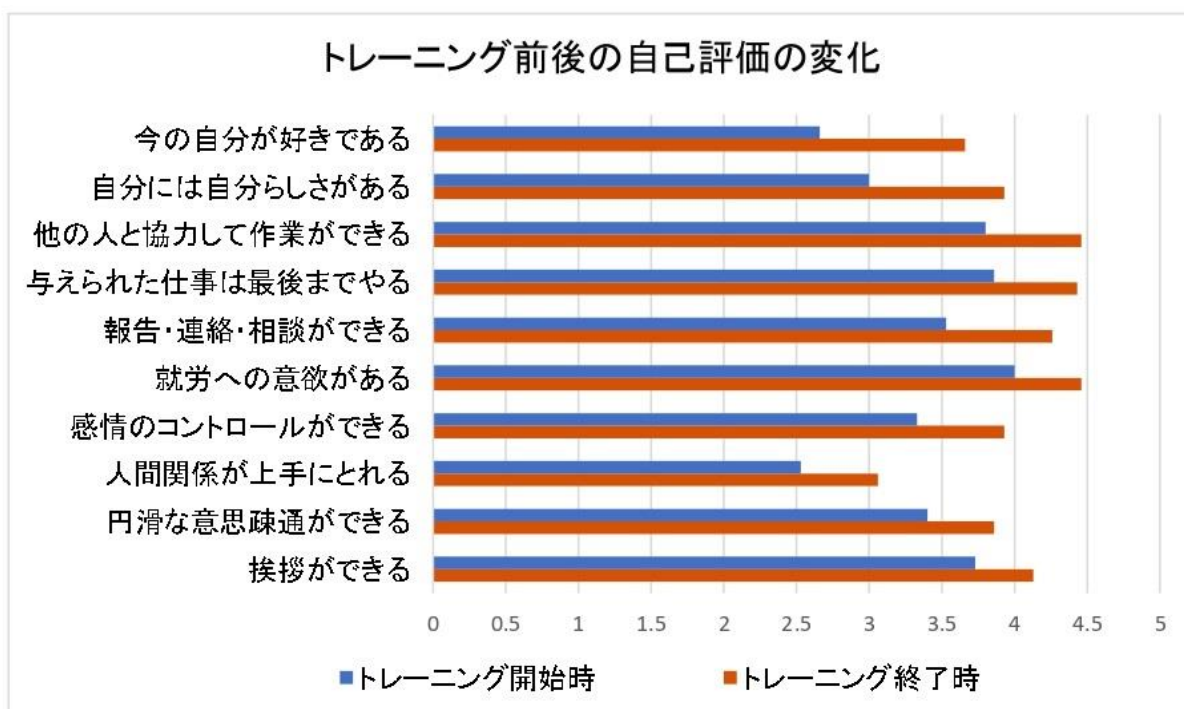
大内山ソフトクリーム→クラウドファンディングの実施
 伊勢うどん、カレーうどん、焼おにぎり等

(3) 次年度以降の継続に向けた働きかけ

① 生活困窮者自立支援事業の受託

四日市市

② カラオケ喫茶の導入（13:30～17:00）



4 人権

(1) 「すべての人にやさしい人権のまちづくり研修支援事業」の実施（三重県委託事業）

平成30年度 すべての人にやさしい人権のまちづくり研修支援事業 実績集約表

1. 目的

(1) 県民に対して「人権尊重の視点に立ったまちづくり」に関する普及、啓発を行う。

(2) 事業の対象者の学びたい人権の課題について、自主的な研修を支援することで、住民主体の人権尊重の視点に立ったまちづくりの取組を促進する。

※研修会は35団体(複数回実施団体は1団体とする)以上で参加者数1,000人をめどに実施する。

2. 実施の実績

	実施日	開始時刻	団体名	新規・継続	人数	会場	演題	講師
1	5月24日	10:30	多気町人権審議会	新規	12	多気町役場	差別禁止3法	金
2	6月17日	13:30	亀山市まちづくりの会	新規	32	亀山市市民協働センター	支え合うまちづくり	松井
3	6月28日	13:00	四日市大学協創ラボ	新規	15	四日市大学	高齢者の人権	松井
4	7月6日	19:00	西柘植人権部会	新規	53	西柘植公民館	差別禁止法3法	金
5	7月14日	14:00	「働く」を学ぶ会	新規	24	トレーニングカフェ・スプラウト	セクハラを考える	松井
6	8月2日	14:00	紀北地域人権まちづくり協議会	継続	29	県尾鷲庁舎	職場の人権	金
7	8月9日	13:30	部落問題を学ぶ会	新規	16	四日市市総合会館	若い世代への部落問題の啓発方法	中島・松井
8	8月10日	10:00	熟年の学ぶ会	継続	80	三浜文化会館	支え合うまちづくり	松井
9	8月24日	19:00	まちづくり創造塾	新規	26	なやプラザ	つながるまちづくり	松井
10	8月28日	13:30	朝日町議員の会	新規	36	IKEDA DANCE SPACE	支え合うまちづくり	松井
11	9月8日	10:00	四日市の地域を考える会	新規	46	四日市市総合会館	支え合うまちづくり	松井
12	9月13日	17:00	県民共済	新規	10	県民共済(津市)	支え合うまちづくり	松井
13	9月22日	14:00	四日市市なやプラザ	新規	20	トレーニングカフェ・スプラウト	支え合うまちづくり	松井
14	10月11日	18:30	四日市市文化協会	新規	42	四日市市文化会館	つながるまちづくり	松井
15	10月16日	18:30	めいわ市民活動サポートセンター	新規	18	明和町中央公民館	つながるまちづくり	松井
16	10月19日	19:30	明和中学校PTA	継続	32	明和中学校	インターネットと人権	松井
17	10月21日	16:00	亀山市協働を進める会	新規	24	亀山市市民協働センター	つながるまちづくり	松井
18	10月30日	18:30	みえNPOネットワークセンター	継続	20	みえ県民交流センター	支え合うまちづくり	松井
19	11月5日	13:00	ワークスタイルデザイン	新規	8	四日市大学	女性の人権	松井
20	11月7日	14:00	はばたきの会	新規	10	四日市大学	女性の人権	松井
21	11月9日	10:00	みえきた市民活動センター	継続	162	桑名市役所	支え合うまちづくり	松井
22	11月18日	13:30	三重県地方自治研究センター	新規	40	三重県地方自治労働文化センター	女性の政治参画	松井
23	11月22日	10:30	部落問題を学ぶ会	継続	15	四日市大学	若者と部落問題	松井
24	11月24日	10:00	川島地区まちづくり協議会	継続	15	川島地区市民センター	支え合うまちづくり	松井
25	12月4日	10:50	四日市大学	新規	100	四日市大学	外国人の人権	金
26	12月6日	13:00	四日市学研究会	新規	130	四日市大学	若者と支え合う地域づくり	松井
27	12月8日	9:30	四日市の地域を考える会	継続	46	四日市市総合会館	支え合うまちづくり	松井
28	12月16日	10:00	みえNPOネットワークセンター	継続	80	みえ県民交流センター	人権課題と市民活動	松井
29	1月10日	10:00	ユニバーサル就労センター	新規	14	ユニバーサル就労センター	就労と人権	森
30	1月15日	16:00	生活協同組合コープみえ	継続	80	三重大学	人権課題と協同組合	松井
31	1月22日	11:00	NPO法人いせコンビニネット	新規	10	いせコンビニネットマイカフェ	障害と就労	金
32	1月29日	19:00	ささえあいのまち創造基金	新規	20	四日市市なやプラザ	災害時の支え合うまちづくり	松井・古林
33	2月18日	13:30	留学生と地域づくり研究会	新規	15	三重大学	外国人と地域づくり	松井
34	2月19日	13:30	部落問題を学ぶ会	継続	10	四日市総合会館	若者と部落問題	松井
35	2月26日	14:00	みえ医療福祉生活協同組合	新規		みえ医療福祉生活協同組合	支え合って生きる	松井
36	2月26日	13:30	障害者体育センター運営委員会	新規		四日市障害者体育センター	障害者とスポーツ	金
37	3月2日	13:30	東海市民社会ネットワーク	新規		桑名メディアライヴ	誰一人取り残さないとは	松井
38	3月7日	13:30	若者就労支援連絡会	新規		トレーニングカフェ・スプラウト	若者と就労	松井

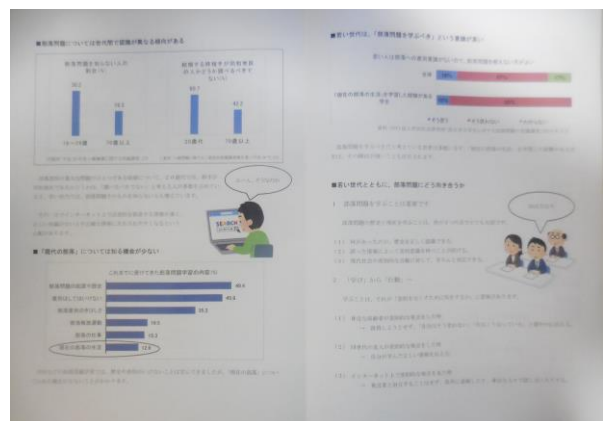
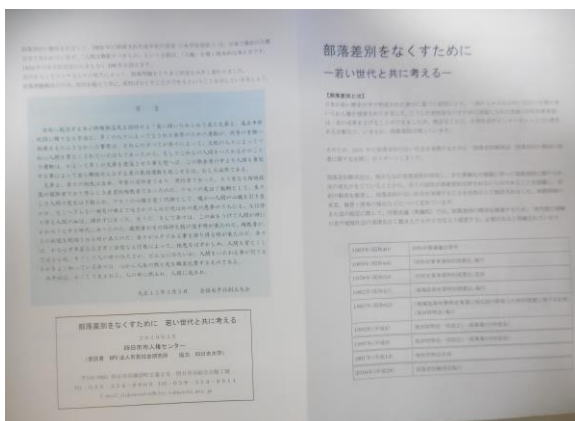
参加総人数 1290 人

(2) これからの部落問題を考える研究業務委託（四日市市委託事業）

【取組み一覧】

月	市民社会研究所	四日市大学
8月	9 石元関西大学教授との学習会 31 灘本京都産業大学教授との学習会	
9月	・事前研修のまとめ・今後の検討 ・アンケート内容の検討 ・アンケートの集計	21日 「人権論」の授業でアンケート実施 27日 第1回ゼミ ① 計画の説明 ②部落問題のDVD学習
10月		4日 第2回ゼミ アンケート分析 11日 第3回ゼミ 論点の抽出 18日 第4回ゼミ 論点別学習(1) 25日 第5回ゼミ 論点別学習(2)
11月		1日 第6回ゼミ 論点別学習(3) 8日 第7回ゼミ 教材構成案検討(1) 15日 第8回ゼミ 教材構成案検討(2) 22日 第9回ゼミ 当事者インタビュー(1) 29日 第10回ゼミ 当事者インタビュー(2)
12月	授業の推進／補助 ・アンケートの集計	6日 第11回ゼミ 教材案作成(1) 13日 第12回ゼミ 教材案作成(2) 20日 第13回ゼミ 教材案作成(3) 21日 「人権論」の授業で教材案使用・アンケート実施
1月		10日 第14回ゼミ アンケート結果の紹介と教材案の検討 17日 第15回ゼミ 教材案を基にした意見交換
2月	・研究の成果についての人権センターとの検討会(19日)	
3月	・教材案に基づく簡易版学習資料作成 ・報告書作成	

【簡易版学習資料】



5 市民共育～特になし

6 調査研究・成果発表

- ・市民社会のアドボカシーの研究

松井真理子

- ・社会的企業に関する発表

2018 年 9 月 22 日 四日市市「事例から学ぶコミュニティビジネス」

「就労困難な若者のトレーニングカフェ『スプラウト』」

市民社会研究所 代表理事 松井真理子

2019 年 2 月 9 日 四日市市コミュニティビジネス創成塾

「トレーニングカフェ『スプラウト』の取り組みについて」

市民社会研究所 副代表理事 金 憲裕

2019 年 2 月 9 日 全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in あいち「はたらく」分科会

「就労困難な若者のトレーニングカフェ『スプラウト』」

市民社会研究所 代表理事 松井真理子

7 新聞報道等

●四日市サブレ

中日新聞 2019 年 2 月 8 日

読売新聞 2019 年 2 月 15 日

朝日新聞 2019 年 2 月 19 日

You よっかいち 2019 年 2 月 23 日

8 他の中間支援組織の事務局・会員

- ① 公益財団法人ささえあいのまち創造基金事務局
- ② NPO法人みえNPOネットワークセンター事務局
- ③ 東海市民社会ネットワーク事務局（新規）